

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、新津圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和3年5月26日（水）9時から11時まで
参加者	委員：10人 関係機関：10人
場所	新津協働センター2階 ホール
内容	<p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. 会長挨拶</b> 可新生活支援体制づくり協議体会長 ※新委員2名の紹介。</p> <p><b>3. 協議内容</b></p> <p><b>①昨年度の会議の振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度第4回会議の報告書をもとに振り返り。</li> <li>・遠鉄ストアととくし丸との提携取り止め&amp;遠鉄ストア独自の移動販売の検討について情報提供。</li> </ul> <p><b>②今年度の協議体会議について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の協議体会議のスケジュール表をもとに今年度の方向性について共有。</li> </ul> <p><b>③地域にある高齢者の困りごとの情報収集・ニーズ調査について</b></p> <p>■ 民生委員・児童委員の活動について</p> <p>&lt;新津地区民児協&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新津地区民児協…20名（民生委員18名、主任児童委員2名）</li> <li>・年間12回（月1回）の定例会を開催。その内、5回は自主民児協。</li> <li>・定例会では関係機関の連絡事項を伝達するほか、毎月1人が事例を報告している。</li> <li>・主任児童委員の発言の機会も積極的に設けている。</li> <li>・民生委員の役割は、“発見・つなぐ・見守る”こと。</li> <li>・今年は全軒調査があり、65歳以上のひとり暮らし世帯や高齢者夫婦のみの世帯などを訪問している。</li> <li>・新津地区で挙がっている主な困りごととしては、買い物・通院・交通手段。自分で買い物に行けない人のなかには子どもに頼む人もいる。</li> </ul> <p>&lt;可美地区民児協&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の内容としては、新津地区民児協と同じ。</li> <li>・地域に住む7割の高齢者は何らかの制度につながっている。2~3割の人達のなかには、子どもが遠方にいる等で頼れる人がおらず病院に行くのに大変だという人もいる。</li> <li>・“適切などころに困りごとをつなぐ”ことが民生委員の大切な役割。自主民児協に</li> </ul>

講師を呼んだりグループワークをしたりするなど、積極的に研修を行っている。

■ 包括・ケアマネ&新津地区民児協の交流会で挙げた地域の困りごとについて

- ・包括・ケアマネ&新津地区民児協の交流会について包括支援センター新津より説明。
- ・交流会の報告書をもとに、交流会のなかで挙げた困りごとを共有。

■ 民生委員・児童委員に依頼するアンケートの内容について

※地区に分かれてグループワークを行った。

<アンケート内容について挙げた意見>

【アンケート全体について】

- ・記入欄に罫線を入れると書いてくれる人が多いと思う。
- ・民児協だけでなく高齢者個人を対象にアンケートをとった方が良いのではないかと  
→高齢者個人への調査については、生活支援コーディネーターがふれあい交流センター等に出向いて聞き取り調査を実施する予定。
- ・高齢者がどんな媒体で情報収集をしているのかについて把握できると良いのではないかと

【設問 1. について】

- ・“ご担当の町名を教えてください”という設問の後に、“担当地区の特徴を教えてください”という設問を入れると、町の様子をイメージできるのでアンケートに答えやすいのでは？

【設問 2. (1) について】

- ・“高齢者のみの世帯は何世帯ありますか？”の設問について、65歳～74歳の人のなかには現役の人もいるので、75歳以上の高齢者世帯を対象にしてはどうか？
- ・世帯については自治会でも把握しているため、情報提供ができる。

【設問 2. (5) について】

- ・地域の活動・集まりなどに参加している人の人数を把握するのは難しいのでは？
- ・“地域にはどんな集まりがあるのか”や“現在の活動状況”について聞いてみるのはどうか？

<地域の状況について挙げた意見>

- ・新津地区内には、掛舞線に1本バスが通っている。1時間に1本しか走っていないので、不便に感じている人もいる。また、現在地区内を通っているバス路線のうち、1本が廃止になると聞いている。現在、その路線を利用して生活している人達の中には、バス路線廃止によって困る人もいるため、代替で利用できる仕組み等について、6月の会合で市の担当課から報告してもらおうことになっている。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中には自治会に入っていない人もおり、自治会員以外の方は回覧の対象外。広報はままつ等が届かない家もあり情報弱者がいる。</li> <li>・回覧版に広報はままつ等をつけて回しても、回覧板から資料をとってくれる家が少ない。つけた資料が挟まったまま返ってきてしまうことも。</li> <li>・新橋町では、自治会員 50 軒の内 47 軒が地区の LINE の“ともだち”に登録してくれた。今後、回覧版の代わりになっていくかも。</li> <li>・高齢者には、スマートフォンやインターネットを使うのが苦手な人もいるので、紙媒体も使いながら情報を得られるように配慮していきたい。</li> </ul> <p><b>④地域の状況について報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談を受けた事例についてコミュニティソーシャルワーカーより報告 2階にある大きな家財道具を1階に下ろしたいが自分1人ではできないという相談を受け、有料の生活支援サービスを紹介。 ふとした時に困りごとは発生するもので、誰にも起きうることはないか。 困りごとに直面した際に相談できる地域資源を知っておくことが重要だと感じる。</li> <li>・小沢渡町訪問について生活支援コーディネーターより報告 ※パワーポイント資料をもとに小沢渡町の様子を報告。</li> </ul> <p><b>4. 次回の協議体会議の日程について</b> 日時：8月23日（月）9：30～11：00 会場：可美協働センター1階 ホール</p> <p><b>5. 連絡事項</b> 特になし</p> <p><b>6. 閉会</b> 可新生活支援体制づくり協議体副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今後、地域の現状・ニーズを把握するため、アンケート協力を民児協に依頼していく。アンケート調査を通じて集まった情報をもとに地域ニーズを見極め、今後地域で取り組んでいく課題を決めていく。</p>